

ウクライナ侵略

停戦すぐに外交解決を

【ワシントン＝島田峰隆】欧

米諸国の平和団体は26日、ロシアによるウクライナ侵略に抗議する緊急オンライン集会を開きました。平和運動の活動家のか欧州諸国議員も発言。即時停戦とロシア軍のウクライナからの撤退、外交による解決、歐米側も緊張を高める行動を控えることなどを訴えました。

米国の女性反戦組織「コード・ピンク」と英國の反核平和団体「核軍縮運動」(CND)が主催。欧米、アジア、アフリカ、中南米から約2000人が視聴しました。

フランスの左派政党「服従しないフランス」のダニエル・オボノ下院議員はロシアによる侵略について「受け入れられない」と強調。欧州安保協力機構(OSCE)などを通じて停戦を模索するところも、国連総会が停戦実現へ役割を果たすべきだと述べました。

26日、ロシアのウクライナ侵略に抗議する緊急オンライン集会で発言する人たち(同集会のスクリーンショット)



英労働党のジョンガー・コー

ピン前党首は、ロシアの若者、学生、スポーツ選手なども反戦の声を上げていると強調。ロシアのプーチン大統領が核兵器使用を示唆したことでもぐり、年内に予定されている核兵器禁止条約第一回締約国会議、核不拡散条約(NPT)再検討会議が重要になると強調しました。

北大西洋条約機構(NATO)など軍事同盟に反対するベルギーの「NATOノー」のルド・デラバントル氏は「ウクライナ侵略は国連憲章違反であり、法的にも道徳的にも正当化できない」と指摘し、ロシアに攻撃中止を求めました。